

グリーンパーク（北九州市立響灘緑地）・ひびき動物ワールド 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月16日（水） 13:15～16:00
- 2 場 所 北九州市役所（小倉北区内1番1号）地下2階第2入札室
- 3 出席者 （検討会構成員）薛構成員（座長）、長構成員、加藤構成員、横田構成員、
植田構成員
（事務局）都市戦略局緑政課長、公園経営係長、職員

4 会議内容

- 当日のスケジュール、審査にあたっての留意点、審査結果の公表等について事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出。

○応募団体（地元連携グリパプロジェクト北九州）より提案概要に関してヒアリング

- （構成員） ユーザー目線ということで意見聴取を行っているが、ペルソナということで、ターゲット、ニーズをどう設定しているか。
- （応募団体） 基本方針にたくさんのニーズを踏まえてとあり、幅広いニーズを設定しているが、今回はZ世代に力を注ぐ。八幡高校の生徒会へ意見聴取して、どうすればグリーンパークに来てもらえるか考えた。
- （構成員） 募集要項で示されている若松北海岸エリアの活性化に貢献することや観光客の回遊性の向上という点で力を入れているところを教えてください。
- （応募団体） 令和11年度に自然と触れ合える癒しの拠点ということで観光拠点として打ち出したい。また、ほとんど車で来場する関係上、グリーンパークを周辺観光の拠点として活用できる。
- （構成員） ひびき動物ワールド業務を行う飼育経験者について教えてください。
- （応募団体） カンガルー飼育経験者がおり、グリーンパークで他の動物の飼育経験があるスタッフもいるので動物飼育に関して問題なく対応できる。
- （構成員） グリーンパークについてどういったところが課題か。
- （応募団体） 意見聴取を行う中、地元連携が課題と感じている。我々の強みである地元連携を行って活動を拡大することができると感じた。
- （構成員） 入園者を5年で2割増やすチャレンジングな計画となっているが、実現可能となる対応策を教えてください。
- （応募団体） 今まで来ていない潜在層へのアプローチを行う。例えばZ世代。高校生から小さい頃は利用していたが、現在利用していないという意見があった。また、ルールの整備が必要だがペット同伴の入園を可とすることも進めていく。意見聴取を行う中

で、知らなかったけど魅力ある施設という意見もあったため、SNS、RKBなどマスメディアと連携し、知ってもらう努力を進める。入園者目標の設定に関してはベンチマークとして海の中道を意識している。北九州市の市民の数、商圈を考えれば到達可能と考えている。

(構成員) 新規入園者獲得のための取り組みはわかった。リピーター対策について教えてほしい。

(応募団体) 提案事業であるプレミアム授乳室など、施設の充実を行う。何度も使ってもらえる環境整備を行い、年間フリーパス制度の導入や「私の花壇」という取り組みなど何度も訪れたいという仕組みを考えている。また、冷暖房がある緑化センターのホールを活用して気温や天候に関係なく遊んでいただける環境を作ることなどに取り組む。

(構成員) 自主事業の修繕費は具体的に何を修繕するのか。

(応募団体) 現指定管理者が整備を行ったアトラクションなど、需要があるものは引き継いで運営したい。

(構成員) Z世代、例えば高校生だけでグリーンパークに行くのは難しいと思うが、その点実際の高校生の意見などはどうだったか。

(応募団体) 臨時バスなどが出ているが、その情報もZ世代に届ききっていない。情報周知を行うことから始める。大型イベントがあれば、西鉄グループからシャトルバスを出すなど行えることもある。

(構成員) 頓田断層を抱えるグリーンパークだが、一時避難地ともなっている。防災対策はどのように行うか。

(応募団体) スポーツ施設の運営も行っているが、実際行えることを行政と打合せを行い、準備しておくことが大事となる。また、緑化協会は市と防災協定を結んでいる。大雨などでの街路樹倒壊なども若松支部もあるので対応できる。過去にも門司で災害対応を行った。また、響灘緑地研修館も耐震性を備えた施設で100人ほど泊まれるうえ、水や物資を倉庫にストックできる。

(構成員) 74名の人員確保はどのように行うのか。

(応募団体) 4チームに分かれている。運営部門は当社で行う。施設リーダーはこれから雇用を行う。施設スタッフ等は、現在働いている方も希望があれば面接等をさせていただいて、不足人員については雇用を行う。動物部門のスタッフについては、構成員の中に専門学校の講師を行っている方もいるので、学生や経験者のつてがあり人員を確保できるが、現在働いている方で働きたいという方、熱意のある方であれば、雇用する方法もある。雇用と納税には地元連携を行ってベストを尽くす。

(構成員) 動物は市の所有動物のみで運営するのか、それともどこから動物を連れてきて運用をおこなうのか。

(応募団体) ポニー広場のふれあい事業は、ものすごく集客がある。土日のみと想定している。移動動物園もノウハウがあるので、臨時に連れてくることもできる。

(構成員) 広告宣伝費について、しっかりとした金額を確保しているが、市内向けと広域の割合がどれくらいか、またお金をかけてPRしようと思っているターゲットとツー

ルについて教えてほしい。

(応募団体) 市内が6、市外が4。市内は現指定管理者もしているが年12回小中学校の生徒へチラシを配布しており、効果はあるため継続したい。またRKBのラジオ週一回使って広告したい。現在は金曜日のお昼が一番効果がある。

(構成員) メディア活用アドバイザーが高齢だが、Z世代の獲得にアンテナはあるか。

(応募団体) 感度は高い方、実績をもとにZ世代獲得にあたっては知見を発揮してもらえる。

(構成員) 収支計画が当初3年据え置きになっている。最近の賃金上昇や従業員のモチベーション確保にあたっては人件費は重要と考えるが、人件費についての考えを教えてください。

(応募団体) 最低賃金で考えているわけではないので必ずしも毎年上昇するわけではないと思うが、効率を上げていき、上昇分を吸収できると考えている。

(構成員) 3度目の応募で強力なチームだと思うが、前2回の公募は何が足りなかったと思うか。

(応募団体) 前は我々地元企業が代表ではなかった、地元企業の熱意が足りなかったと考える。

(構成員) 緑化協会が参加することが強みのような説明があったが、現指定管理者のうちに緑化協会所属の事業者はいないのか。

(応募団体) いる。緑化協会は他の公園も維持管理を行っている。

(構成員) 新しく指定管理者が変わることで、緑地の維持管理の質が変わるということはないか。

(応募団体) 緑化協会もスピナも緑地の維持管理は専門事業。質は確保できる。

○ 構成員は、応募団体（地元連携グリパプロジェクト北九州）の提案概要説明と質疑応答を受けて、各自評価レベルを記入。

○ 応募団体（グリーンパーク活性化共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 現指定管理者ということで、これからも守っていく部分と新たな取り組みについて教えてください。

(応募団体) まずは安全安心。事故のない公園を守っていきたい。新たな取り組みとしては、地域の連携や今4万人いるフォロワー、これを拡大しSNSを使って幅広い広報を行いたい。

(構成員) 自主事業の収支について「あみーご」の投資を行っているが、何年度で回収できるのか。また、指定管理者に選ばれなければどうするのか。

(応募団体) 回収は10年で計画している。設置管理許可制度で設定しているため、指定管理者に選ばれなければ原状復帰を行う。新たな指定管理者が活用したいということであれば、引き継ぐという形になる。

(構成員) ひびき動物ワールド業務の人員配置について教えてください。カンガルーの飼育経験があるか。

- (応募団体) 隣の施設そしてひびき動物ワールドとずっと連携をしている。ノウハウの引継ぎは適正に行う上、グリーンパークの動物管理課がひびき動物ワールドから委託を受けてカンガルーなどの飼育を行っていた。ひびき動物ワールドで現在働いている飼育経験者については、希望があれば歓迎する。委託者として飼育実績はあるため、カンガルーの飼育は可能と考える。
- (構成員) グリーンパークの管理運営についてどういったところが課題か。
- (応募団体) 大きな課題は老朽化。施設は延命化含めて大切に運用を行ってきた。安全についてはこだわっていきたいと考えている。また、人材育成も課題。
- (構成員) 10年での離職率はどのくらいか。
- (応募団体) 細かく数値化はできていないが、高齢の方も多く、勤続年数の長い方も多い。
- (構成員) 若松北海岸エリアの活性化や観光客の回遊性の向上など、考えていることを教えてほしい。
- (応募団体) サイクリングコースを北海岸エリアにも拡大する。3つの大きなサイクリングコースを設定し、サイクルツーリズムのためのサイクリングターミナルを拡充したい。
- (構成員) コースは細かく設定しているか。
- (応募団体) 詳細はこれから詰めていくところ。
- (構成員) 課題としてトイレの不満があるが、改修についてどのように考えているか。
- (応募団体) においやタイミングによって不満を解決できていく部分もある。配管の問題がある場合は優先順位をつけて対応していく。
- (構成員) 頓田断層を抱えるグリーンパークだが、一時避難地ともなっている。防災対策はどのように行うか。
- (応募団体) 一時避難地、広域避難地となっている。実際開園中どのように対応するか話し合ったり避難訓練を行っている。帰宅困難者については、カフェで2,000~3,000食分を提供できる。
- (構成員) 51万人という7年度の目標は、5年度の実績と比較するとかなりの増加が必要だが、どのように考えるか。
- (応募団体) 5年度は土日開催のフリーマーケットの中止など、天候による悪影響があった。令和6年度は9月末時点で51万人を達成した令和元年度と同様の状況であり、7年度の目標も十分達成できると考える。
- (構成員) 入場者数が減る、雨の日の集客対策は考えているか。
- (応募団体) 集客が難しいことは確か。雨の時も楽しめる工夫を考えていきたい。
- (構成員) 緑化センターのホールがあまり活用されていないように見えるが。
- (応募団体) あまり利用はないが、寒い時期にふわふわ遊具を設置し、室内でも楽しめる取り組みを行っている。
- (構成員) カンガルー広場が一体化するが、良さや強みはどのようなところか。
- (応募団体) 連携は試みていたが、管理者が違う関係で就労も違うため、難しい部分があった。ふれあいなど意識してカンガルーの魅力を引き出し、入場者増につなげたい。
- (構成員) 広告宣伝費について、しっかりとした金額を確保しているが、市内向けと広域の割合がどれくらいか、またお金をかけてPRしようと思っているターゲットとツー

ルについて教えてほしい。

(応募団体) 市内と市外の割合が計算していないのでないが、入園者は市外は4割。年12回行っている小中学校の生徒へのチラシ配布が一番お金がかかっている。届けたい層はファミリー層。

(構成員) 都市公園としての機能というキーワードが出ているが、都市公園として譲れないところ、大切に思っているところを教えてほしい。

(応募団体) 緑化・環境・景観、生物多様性があることが存在価値であるとする。日常の維持管理で価値を高めていく。

(構成員) 職員の理念研修というものはどういうものか。職員に浸透しているのか。またその事例はあるか。

(応募団体) 前回の研修は安全と集客と活性化3つのキーワードで研修を行った。従業員一人一人でお客様に声かけをしようと、安全に対するコミュニケーションへの意識は高くなっている。

○ 構成員は、応募団体（グリーンパーク活性化共同事業体）の提案概要説明と質疑応答を受けて、各自評価レベルを記入。

○ 構成員は、応募2団体の評価レベルを発表し、構成員全員で意見交換。

(構成員) 地元連携グリパプロジェクト北九州は、アンケート調査など利用者目線での取り組みが評価でき、それに伴ったトイレや授乳室の整備についても評価できる。また、収支計画書の積算においても実績に基づき根拠を示した積算となっており評価できる。

(構成員) 地元連携グリパプロジェクト北九州は関係団体・地域との連携が評価できる。

(構成員) 地元連携グリパプロジェクト北九州は事故対応についてもマニュアルがきちんと作られていてノウハウがあるのだろうと感じた。

(構成員) 地元連携グリパプロジェクト北九州は組織図などがしっかりしていた。地域の体制づくりについても評価できる。

(構成員) 地元連携グリパプロジェクト北九州は、他施設での指定管理実績もしっかりある。安心して管理運営を任せられるレベルにあると感じた。

(構成員) グリーンパーク活性化共同事業体は、都市公園としての価値をしっかり認識していると感じた。

(構成員) グリーンパーク活性化共同事業体は、若松区北海岸エリアの活性化や観光客の回遊性遊性向上など募集要項で示された施設の在り方に沿って、具体的な取り組みを元に魅力的な提案を行っていた。現指定管理者であることの強みを生かして実現可能性の高い入園者数目標を立てており、目標を達成するための新規アトラクションなどの取り組みも当を得ている。また、人員配置について充実していると感じた。地元連携グリパプロジェクト北九州は、高い入園者数目標を立てており、様々な集客策を提案しているが、それが大幅な集客増につながるイメージが持て

なかった。

(構成員) グリーンパーク活性化共同事業体は、イベントや遊具など総花的でまとまりに欠けるように感じた。自然に着目し、四季性を強く打ち出したイベントを行う等、施設の本質に着目するべき。とはいえ、イベントや遊具などが入園者に喜ばれているところでもあると思うが。

(構成員) グリーンパーク活性化共同事業体の提案は、総花的とは言うが、細部に渡りそつがなく優れているとも言える。地元連携グリパプロジェクト北九州は、提案の細部の詰めが甘く、提案書の実現可能性はグリーンパーク活性化共同事業体に軍配が上がる。グリーンパーク活性化共同事業体は、入園者増加策、管理運営基盤、安全対策や危機管理など、ポイントを押さえた総合的に優れた提案がなされていた。安全対策については、マニュアルや日常の事故防止に関してもよく考えられていると感じた。

(構成員) グリーンパーク活性化共同事業体は、広報の効果検証を工夫すべき。

(構成員) グリーンパーク活性化共同事業体は、現指定管理者で管理運営にあたる安定性もあり、実績が高く評価できる。今後も安心して任せられる。

○ 構成員は審査項目ごとの議論を踏まえ、各自評価レベルを再考し記入。

(構成員) どちらの提案も一定のレベルを満たしており、応募団体も本施設の管理運営を安心して任せられると考える。

(構成員) 安全対策・防犯対策など危機管理などが優れており、新たな遊具などの入園者増加策が具体的だったグリーンパーク活性化共同事業体が総合的に優れていると考えられる。

○ 各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを、

1 指定管理者としての適性のうち、

(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針について

地元連携グリパプロジェクト北九州 3

グリーンパーク活性化共同事業体 3

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤について

地元連携グリパプロジェクト北九州 3

グリーンパーク活性化共同事業体 3

(3) 実績や経験などについて

地元連携グリパプロジェクト北九州 4

グリーンパーク活性化共同事業体 4

2 管理運営計画の適確性のうち、

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについて

地元連携グリパプロジェクト北九州	3
グリーンパーク活性化共同事業体	3
(2) 利用者の満足度について	
地元連携グリパプロジェクト北九州	3
グリーンパーク活性化共同事業体	3
(3) 指定管理料及び収入について	
地元連携グリパプロジェクト北九州	3
グリーンパーク活性化共同事業体	3
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について	
地元連携グリパプロジェクト北九州	3
グリーンパーク活性化共同事業体	3
(5) 管理運営体制などについて	
地元連携グリパプロジェクト北九州	4
グリーンパーク活性化共同事業体	4
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて	
地元連携グリパプロジェクト北九州	3
グリーンパーク活性化共同事業体	4
(7) 社会貢献・地域貢献について	
地元連携グリパプロジェクト北九州	3
グリーンパーク活性化共同事業体	3

が妥当であると決定した。

○ 事務局は地元団体に対する優遇措置や優秀事業者に対する優遇措置を反映させたうえでの合計得点を発表。

- ・ 地元連携グリパプロジェクト北九州は、74点
- ・ グリーンパーク活性化共同事業体は、77点

○ 構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。

地元連携グリパプロジェクト北九州は、他都市や北九州での実績十分な事業者が共同事業体の構成員となっており、収支計画においても適切な根拠を基に算出し、施設運営にかかる熱意を十分に感じられた。また、施設の魅力向上のための課題設定にあたり、幅広い対象へ意見聴取を行っており、トイレや授乳室の改善などユーザー目線での提案が多かったことが評価できる。

グリーンパーク活性化共同事業体は、他都市や北九州での実績も十分な現指定管理者であり、若松北海岸エリアの活性化や観光客の回遊性の向上など、施設の在り方に沿った提案が評価できる。また、実現可能性の高い入園者数目標を立てており、目標を達成するための様々な入園者増加策、管理運営基盤、安全対策や危機管理など、総合的に優れた提案がなされていた。

協議の結果、地元連携グリパプロジェクト北九州も類似施設の運営実績やユーザー目線での施設の改善案など、指定管理者として十分相応しいと認められる提案を行っているが、検討会としては、施設の在り方に沿った提案を行っており、入園者増加策や目標数値からみて優れた提案を行い、合計得点が高くなっているグリーンパーク活性化共同事業体が指定管理者として相応しいと判断する。

市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

なお、付帯意見として、以下を付すことにした。

- ・ 広告にあたっては、費用対効果を含め効果検証を十分に行うこと
- ・ 豊かな緑など、施設の持つ魅力を最大限に引き出す事業を展開すること

○とりまとめを行って、検討会を終了した。